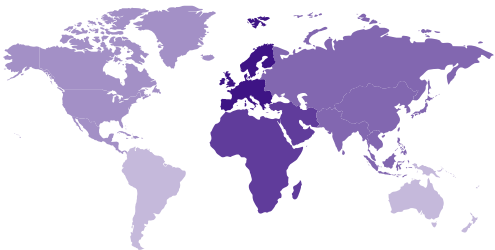


博士学生向け支援制度： 高等大学院LEAPプログラムについて

高等大学院機構 大学院教育推進センター
特任助教 梶田 諒介



現代社会が直面する複雑なグローバル課題

(AIの進化、環境問題、国際競争の激化、戦争・紛争など)

■ 社会で求められている能力は？

正解のない問題、道筋の与えられない課題

➡ 知恵と工夫で解決する力。

- ・正解が有るかないか、一つだけなのか複数あるのか
- ・誰も解決法を教えてはくれない
- ・単一分野の知識だけでは解決できない複合的・地球規模課題

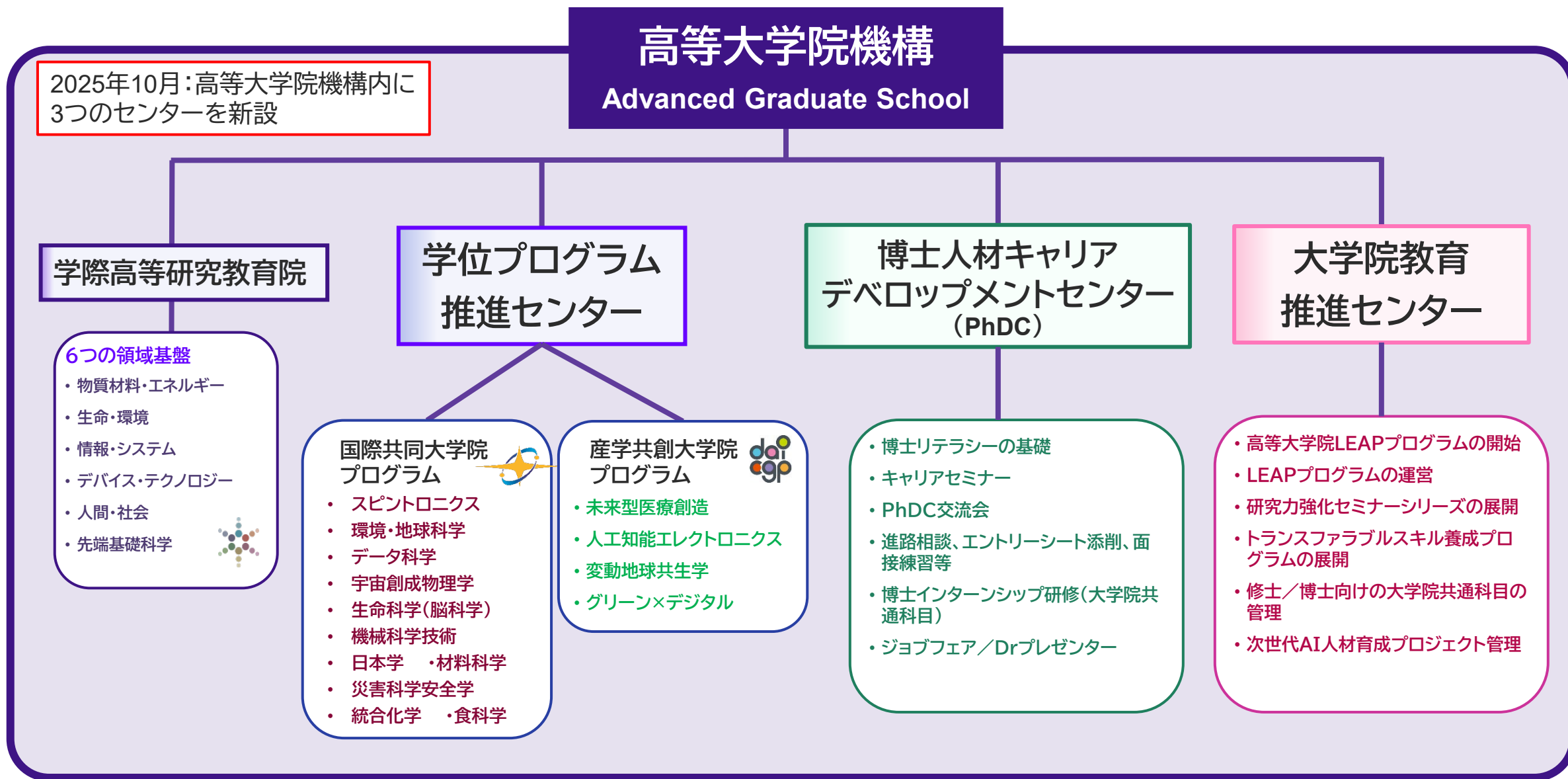
■ 新しい日本社会を牽引する力

社会にイノベーション(変革)を引き起こす

- ・課題の本質を見抜く力 → 新しいルールを作る力
- ・国際的なコミュニケーション力、実践力
- ・革新的な科学技術とそれを使った社会システム転換

専門性と多様なスキルを兼ね備えた「博士人材」の必要性

➡ キャッチアップからフロンランナーの時代へ





● 学際・国際・産学共創を理念とする多様な横断型学位プログラムを展開



国際共同大学院プログラム

海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実践することにより、グローバル人材を育成

- スピントロニクス
- 環境・地球科学
- データ科学
- 機械科学技術
- 材料科学
- 災害科学・安全学
- ・日本学
- ・宇宙創成物理学
- ・生命科学(脳科学)
- 統合化学
- ・食科学



産学共創大学院プログラム

国内外の企業及び研究機関との共創により社会的課題の解決に挑戦して社会にイノベーションをもたらすことのできる人材を育成

- 未来型医療創造
- 人工知能エレクトロニクス
- 変動地球共生学
- グリーン×デジタル



学際高等研究教育院

異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育により、次世代のアカデミアを担う若手研究者を養成

○ 6つの研究領域基盤

- ・先端基礎科学
- ・人間・社会
- ・デバイス・テクノロジー
- ・情報・システム
- ・生命・環境
- ・物質材料・エネルギー

◆ 各学位プログラムについては、各HPの募集要項等をご確認ください。

学位プログラムに所属する優秀な学生への支援

- ・ 研究奨励費(生活費支援)
- ・ その他各プログラムによる独自支援

研究力を発展させる様々な活動

- ✓ 国際研鑽:海外有力大学への長期留学の実施
- ✓ 企業インターンシップ、共同研究インターンシップ
- ✓ Project-Based Learning の展開
- ✓ 学際的視野の涵養

東北大学は、次代のイノベーションを担い世界で活躍する卓越した研究者の育成と、多様なセクターへの高度専門人材の供給を担うため、**2026年4月より博士課程学生への総合的な支援パッケージを開始しました。**

博士学生への総合的な支援パッケージ

東北大学高等大学院LEAPプログラム

TU-AGS LEAP Program

研究力のみならず、国際的視野、創造力、社会実装力を備えた博士人材を育成し、
自らの研究成果をもとに、新しい価値を創造できる飛躍する博士を輩出していきます

博士学生向けの高等大学院LEAPプログラム

- ① 対象となるすべての博士学生※に対して、年額127万円以上の研究奨励費を支給します。
- ② 特に優秀な学生を対象とする学位プログラム所属博士学生には、年額240万円の研究奨励費を支給します。
- ③ 特に優秀な学生を対象とする学位プログラム所属博士学生の授業料を全額免除します。さらに、日本人学生等の博士課程進学を促進するため、対象となるすべての博士課程に在籍する日本人学生等の授業料・入学料を全額免除します。
- ④ 研究科等からRA、TF、TA、AAとして給与を支給される方策を拡充します。これらは、博士課程学生への経済的支援を大幅に拡充するものであり、今後もさらなる支援拡充を進めてまいります。
- ⑤ 博士学生の海外経験・国際研鑽を向上させるため、公募型の研究費支援(旅費等)を実施します。
- ⑥ 博士学生の多様なキャリアパス開発に向け、研究力強化支援やトランスファラブルスキルの修得につながる教育プログラムの展開を拡大していきます。

経済支援の対象学生および分類

(注)今後の学内予算状況の変動により変更となる可能性あり

対象学生※1		①研究奨励費(年額)	②授業料等全額免除		③公募型研究費支援(旅費等)※4
			授業料免除(年間)	入学料免除	
【学位プロ枠】 学位プログラム等※3に 所属する博士学生	日本人学生等※2	240万円	53.6万円	28.2万円	
	留学生	240万円	53.6万円	—	
【一般枠】 学位プロ枠以外の博士学生	日本人学生等※2	127.2万円	53.6万円	28.2万円	
	留学生	127.2万円	—	—	

※1 研究奨励費及び全額免除の支援対象外:休学者、標準修業年限を超過した者、180万円以上の収入がある学生(学位プロ枠であれば免除のみ対象)、JSPS特別研究員(免除のみ対象)、国費留学生、併給不可の奨学金等受給者

※2 日本人学生等とは、日本国籍を有する者(日本に帰化した外国人含む)を指す。また、特別永住者、永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者なども日本人学生等に含まれる(参照:授業料等免除HP <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/gakusei-shien/menjo/yuusyusya/>)

※3 学位プログラム等とは、国際共同大学院プログラム、産学共創大学院プログラム、学際高等研究教育院を指す(参照:高等大学院機構HP <https://pgd.tohoku.ac.jp/>)

※4 博士学生の国際研鑽を向上を目的とし、国際会議発表等にかかる公募型の研究費支援(旅費等)。学位プログラム所属学生が必修となっている海外研修やインターンシップ等の活動については、別途学位プログラムから経費支援あり

- これまでの支援制度では審査および厳格な選考プロセスを経ていたため、実際に学生が採択・不採択の結果を受け取ることができるのは、博士課程進学後の4～5月^(10-11月)でした。**博士課程進学後まで、自身の経済的支援の有無が不透明という大きいデメリット**がありました。
- 「不採択による生活基盤の喪失」というリスクを排除し、すべての学生に等しく安定した研究環境を提供することで、**精神的不安の解消**につなげます。
- 従来の審査方式から、条件を満たす全学生を対象とする方式へ転換しました。これにより、**修士課程の段階で、博士進学後のベースとなる経済的支援が把握できるため、より長期的な視点での計画立案をすることができます。**

項目	内容
支援期間	標準修業年限内 D1～D3 （医・歯・薬学履修課程の場合、D1～D4）
対象	博士後期3年の課程 または医・歯・薬学履修課程に在籍する学生
研究奨励費	年額127.2万円（月額10.6万円） ※雑所得扱いのため確定申告が必要 東北大学におけるRA・TA等により、上乗せの機会あり
年齢・研究分野	年齢制限なし・分野指定なし
<u>重複受給制限</u>	採用期間中の収入が年間180万円未満であること ※東北大学におけるRA、TF、TA、AAの収入は除く ※4月期採用の場合、2027年4月～2028年3月の期間の収入を計算
採用時期	4月期・10月期
申請方法	所定の締切日時までに所属研究科を通して提出 【1. 研究計画書、2. 業績一覧】
支援開始時期	5～6月 （10月期の場合は11月頃予定。） ※留学生のうち、まだ東北大学に一度も来ていない場合は、来学後から支援開始

支援を受けるためには必ず申請が必要です。

2026～2027年度スケジュール(予定)

10

2026

8月頃：募集要項公開

申請期間（10月期・一般枠）

10月末：認定・支援開始

11月頃 学部・修士向け 説明会

2027

2月：必修プログラム確認

2～3月：確定申告（税務署）

3月：研究進捗成果報告書 提出

募集要項公開

博士支援制度 説明会

申請期間（4月期・一般枠）

5月～6月：認定・支援開始

一般枠への申請

支援を受けるためには必ず申請が必要です。

4月期：3月上旬～4月下旬

10月期：9月中旬～10月中旬

※所属研究科の締め切り日を必ず確認すること

申請資格・要件

※募集要項を要確認

申請書類

・研究計画(3000字程度)

・業績一覧

【学位プロ枠】

学位プログラムに所属する学生は各プログラムでの手続きに従ってください。

採用者がすべき主なこと

① 毎月の在籍確認報告

未提出→ 当該月の研究奨励費支給停止

② 6ヶ月毎の研究進捗成果報告書

未提出→ 提出されるまで研究奨励費支給停止

③ 必修プログラムの完了

未完了→ 完了されるまで研究奨励費支給停止

④ 確定申告

→ 翌2月～3月に「雑所得」で確定申告

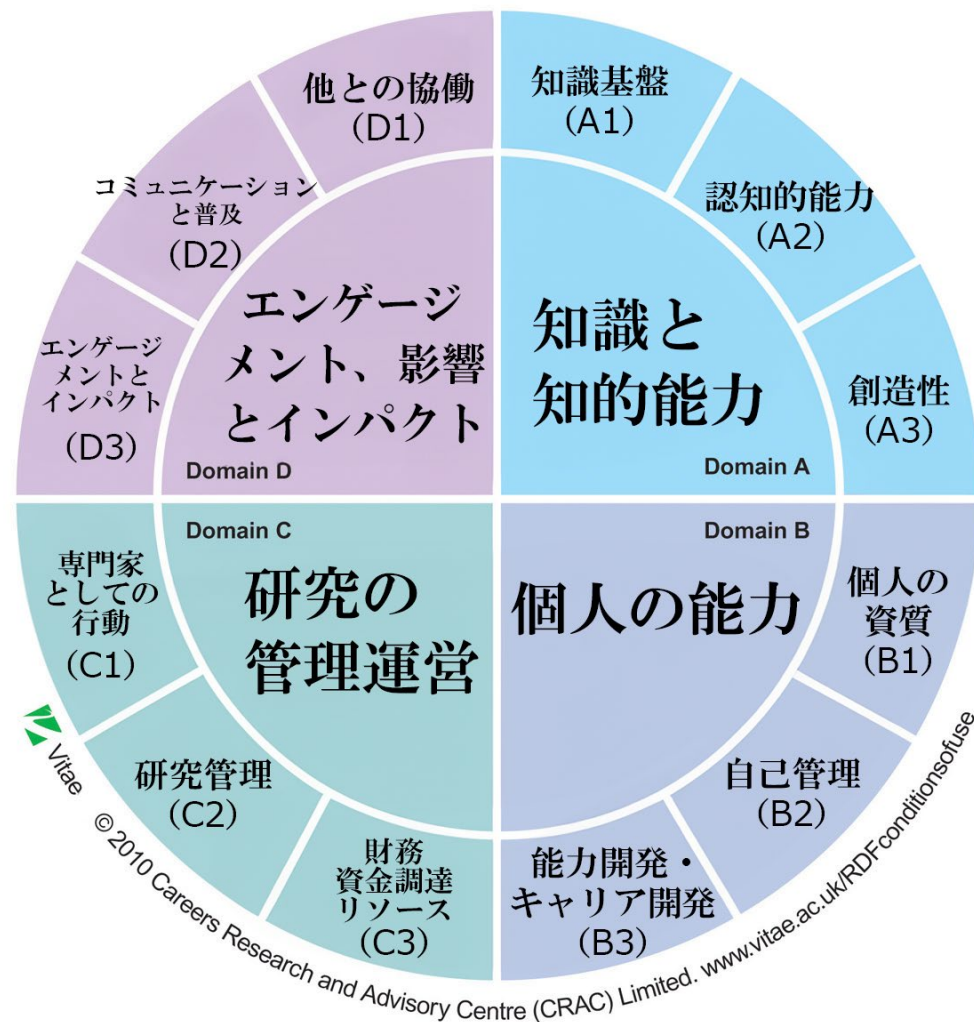
詳細は支援開始後にお知らせします。

重要となる能力(コンピテンシー)

- ① 社会や文化に対する深い理解と高い技術力
- ② 自己と他者との相互関係構築と自己実現力
- ③ 主体的・自律的行動力

なぜ汎用的能力(=トランスファブルスキル)が重要？

- 近年、多くの企業で、博士の採用や活躍を積極的に進めようとする機運が高まっている。
- 専門的な知識を教授するだけでなく、課題発見・解決力、論理的・抽象的思考力、マネジメント力など、様々な場面で活用できるスキルを育成するための取組を拡充している。



研究者能力開発フレームワーク(Vitae RDF, 2010)

1) トランスファラブルスキル研修の展開

12

トランスファラブルスキル研修

文部科学省科学技術人材育成費補助金事業
「世界で活躍できる研究者育成プログラム総合開発支援事業」

ウェビナー開催
研究者のための+αシリーズ
Seminar/Workshop Series
For Researcher Professional Development

Vol. 1 2020年10月12日(月)
16:00~18:00

What is Researcher Development?
～英国Vitaeがすすめる研究者職能開発とは～

Vol. 3 2021年2月1日(月)
16:00~18:00

The Benefits of Professional and Career Development for Researchers
～研究者のポテンシャルを映し出すRDF～

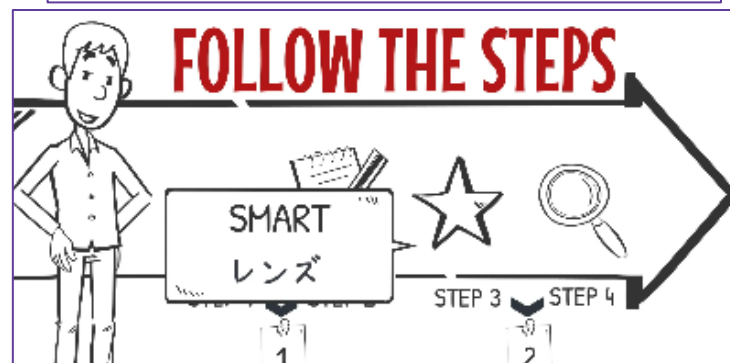
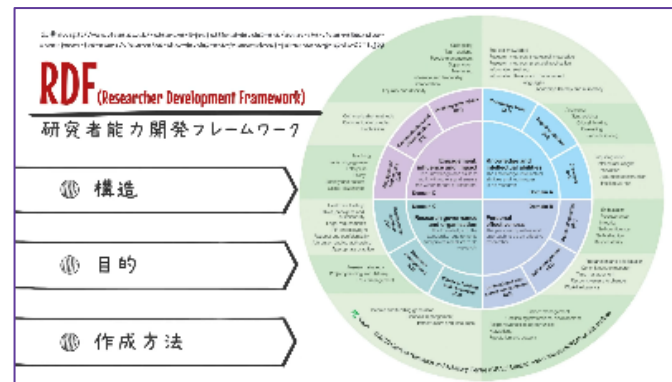
For Researchers Professional Development

Vol. 6 2021年5月27日(木)
16:00~18:00

The Importance of Career Development for Researchers
～研究者が就活するうえで心得るべきことは～

JST主催の3つのウェビナー

2021年開始からこれまでの選抜学生を中心に**2000名超受講済み**。D1で受講することで、在学中に修得すべきスキルに気づき、より有益な研究活動を進められると好評。



東北大学独自のレクチャー動画

【1つ目】上のサブドメインのスキルを活用した具体的なエピソードを、STARの枠組みを用いて記述してください。その際、サブドメインに含まれる具体的なスキル（記述子）も示してください（特にActionとResult）。／【First】 Describe your concrete episode that you utilized your above sub-domain skill, using the framework of STAR. Also describe your concrete skills (descriptors) included in the sub-domain. (especially Action and Result)

◆状況：どのように、いつ、どこで、だれと*
◆Situation: How, when, where, with whom

回答を入力

◆問題：自分が直面した課題や状況を記述してください*
◆Task: Describe the situation or the task you were faced with

回答を入力

◆行動：あなた自身が取った行動はなんですか？*
◆Action: What action did YOU take?

回答を入力

◆結果：この体験を経て、どのような結果または成果につながりましたか？*
◆Result: What results did you achieve/conclusions (did you reach/learn) from the experience?

ワークシートによる振り返り・スキル再発見

nature masterclasses

世界有数の学術出版社であるSpringer Natureが提供するNature Masterclasses on-demandを本学にも導入し、若手研究者や大学院生の研究力強化につなげていきます。**東北大学関係者であれば誰でも利用可能！**

修士(博士前期)課程の学生も、論文執筆の基礎やデータ分析・実験手法など有益なコースが多数あり。2027年度末まで利用可能。

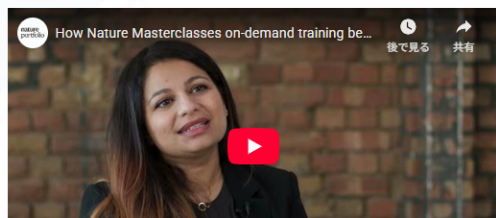
センターTOP | センターについて | 大学院共通科目
研究科横断科目 | AGS RISE
プログラム | 次世代研究者挑戦的
研究プログラム | 次世代AI人材育成
プログラム

トランスファブルスキル
養成プログラム | 「英語」採用者
専用ページ | 「英語II」採用者
専用ページ | 「次世代AI」採用者
専用ページ

nature masterclasses

東北大学大学院教育推進センターでは、大学院学生の研究力を強化する取り組みを進めています。その一環として、Springer Nature社が提供する「Nature Masterclasses On-demand」を2025年2月1日から2026年1月31日まで導入することになりました。東北大学の構成員であれば、すべての方が受講可能となっています。博士課程学生・修士課程学生・学部学生・ポスドク・研究者、などの個人の受講だけでなく、研究科・ゼミ・研究室などの教育・研究活動の一環としてもぜひご活用ください。

Introductory video: How Nature Masterclasses on-demand training benefits researchers



You've got access to
Nature Masterclasses

研究力強化セミナーシリーズ



Research Skills
Enhancement
Seminar Series



英語運用能力を上げる音声学習トレーニング法

論文を執筆する順番

多くのエディターは以下の順番で論文を書くことを推奨しています



Elsevier Japan KK.専門講師による
学術出版目線からの論文執筆

3) PhDCによる博士学生のための様々なキャリア支援1

14

ジョブフェア

民間企業と多様な専門性をもつ博士学生による
企業ブース交流・マッチング

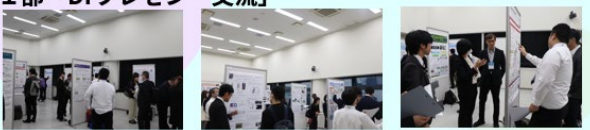
東北大博士を求める企業が青葉山に集結！
博士のための
ジョブフェア2026
2026.10.8 (木) 12:10 開場
青葉山東キャンパス サイエンスキャンパスホール
入退場自由

PhD Researcher & Industry Spectrum Meetup



PhDC 東北大学 高等大学院機構 博士人材キャリアデベロップメントセンター

1部「Drプレゼン・交流」



2部「企業ブース交流」



「意見交換交流会」～ポスター賞表彰～



博士の可能性を切り開く
ジョブフェア2026
**Dr.プレゼン
募集開始**
締切り：2026.7.26 (日)

PhD Researcher & Industry Spectrum Meetup



東北大学 高等大学院機構
博士人材キャリアデベロップメントセンター

博士のためのジョブフェア2026

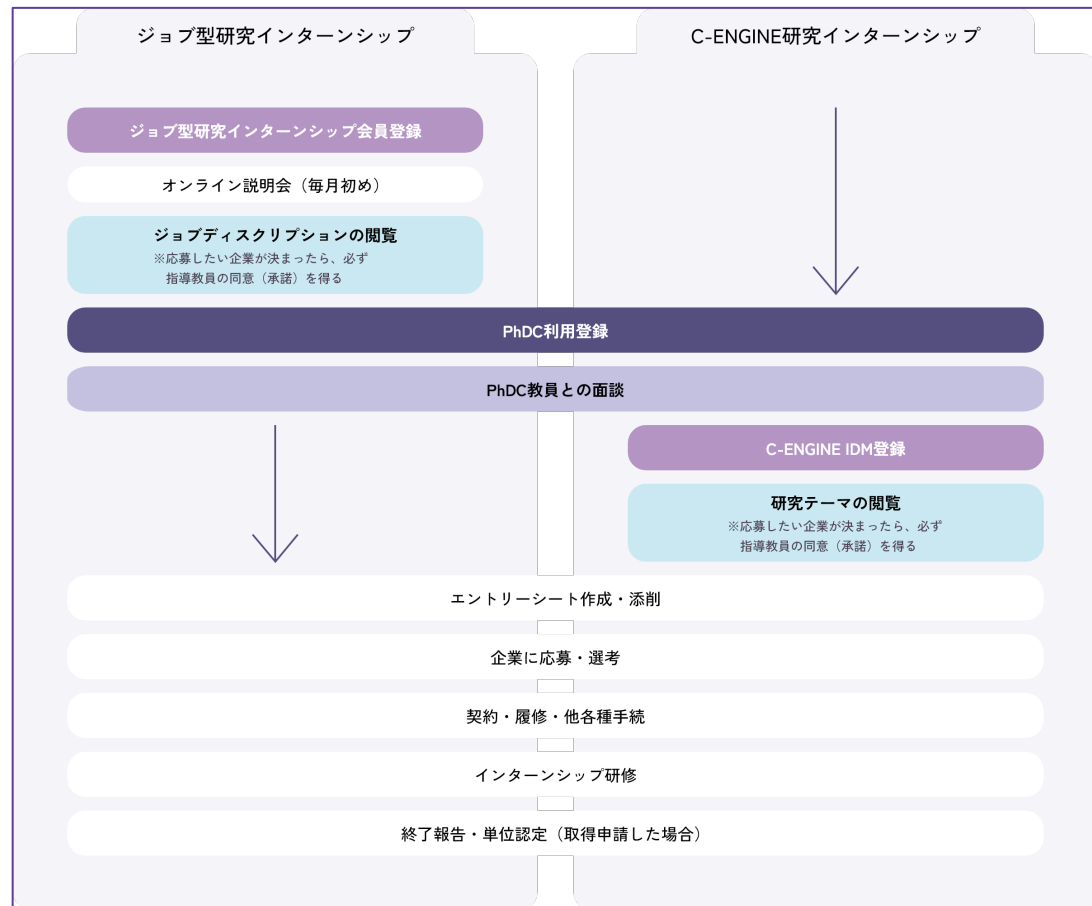
申し込みフォーム

STEP1 内容入力 ▶ STEP2 内容確認 ▶ STEP3 受付完了

事前登録	必須	☐ 特典あり ※事前登録特典付の登録は9月30日登録分までとなります
学籍番号	必須	
氏名	必須	
氏名よみがな	必須	
東北大学ドメインのメールアドレス	必須	 ※半角で入力してください
メールアドレス確認用 Email address confirmation	必須	 ※半角で入力してください
研究科	必須	
専攻	必須	
身分	必須	☐ D1 ☐ D2 ☐ D3 ☐ D4 ☐ PD

博士インターンシップの研修・支援

PhDC就職個別面談／OB・OG体験談交流会



東北大学 高等大学院機構

こんな方におすすめ

- スピーカーの方と専攻が違う方、大歓迎！
- 自分は、アカデミアに就職を希望してるから関係ないかな
- まだD1だけ、何かした方がいいのかな
- とりあえず、どこかに相談してみたいんだけどどうしたらいいんだろ

体験者のリアルトーク

博士の就活

2026.6.16(火) 14時～15時

オンライン（Zoom）開催

対象：東北大学在学の博士後期課程学生・ポスドク

Program

相談する 個別キャリア相談

「就活を具体的にどう進めればいいのか知りたい」
「産業界とアカデミアで悩んでいるため相談したい」
「産業界における博士人材の採用に関する情報を知りたい」
など、皆さんが抱えているキャリア選択に関する悩みや疑問について、個別に相談に乗ります。
どうぞお気軽にお問い合わせください。

オンライン面談室 >

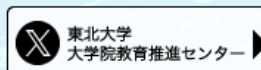
ジョブ型研究インターンシップやC-ENGINE活用に向けた研修

2025年10月よりPhDCの体制を強化し、博士人材のキャリアパス開発支援を拡充している

[機構について](#)
[学位プログラム
推進センター](#)
[大学院教育
推進センター](#)
[博士人材キャリア
デベロップメントセンター](#)
[学際高等研究教育院](#)


大学院教育推進センター

大学院教育推進センターは大学院学生に対する共通教育及び
学修・研究専念環境整備に関する全学的な取組の企画・立案及び調整等を行います。



[センターTOP](#) |
 [センターについて](#) |
 [大学院共通科目
研究科横断科目](#) |
 [LEAP
プログラム](#) |
 [次世代研究者挑戦的
研究プログラム](#) |
 [次世代AI人材育成
プログラム](#)

トランスフェラブルスキル
養成プログラム

「LEAP」採用者
専用ページ

「挑戦的」採用者
専用ページ

「次世代AI」採用者
専用ページ

東北大学高等大学院LEAPプログラム

博士学生への総合的な支援パッケージ

東北大学は、2024年に国際卓越研究大学の第1号に認定されたことを受け、次代のイノベーションを担い世界で活躍する卓越した研究者の育成と、多様なセクターへの高度専門人材の供給を担うため、2025年4月に本学独自の「高等大学院国際卓越研究者育成支援プログラム（AGS RISEプログラム）」を開始し、博士後期課程学生に対する支援を行ってきました。

本学は、これらの取組を発展的に統合し、博士課程学生に対する一体的かつ体系的な育成・支援体制を構築すべく、2026年4月より博士課程学生への総合的な支援パッケージ「東北大学高等大学院LEAPプログラム」を開始しました。

本プログラムは、未来を切り拓く博士人材の“飛躍”を支援するため、研究力のみならず、国際的視野、創造力、社会実装力を備えた博士人材を育成し、自らの研究成果をもとに、新しい価値を創造できる飛躍する博士学生を支援します。

未来を切り拓く博士人材の“飛躍”を支援

① 対象となるすべての博士学生(博士後期3年の課程または医歯薬学履修課程に在籍する学生)に対して、年額127万円以上の研究奨励費を支給します。

高等大学院機構
大学院教育推進センターWebサイト

